

# 交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

## 手書きの良さ大切にして



「少年の主張」で県大会へ  
柴崎 歩さん(14)  
総社町総社

今月七日に行われた「少年の主張」中部地区大会で最優秀賞四人の中に選ばれ、九月二十五日に行われる県大会への出場を決めた。

「わたし以外の参加者はみんな話し方が力強く迫力があつた

ので、まさか選ばれるなんて。自分では思ったとおりの発表ができましたが、結果を聞いてびっくりしました」  
発表したテーマは「心が弾む手紙」。最近ではワープロやパソコン、メールが発達し、手書きの手紙が少なくなつたが、その良さを大事にしなくてはいけないという内容だ。

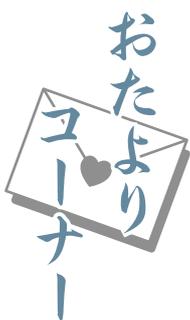
「昨年、わたしも携帯電話を買ってもらい、気軽に友達とメールをしています。手間や時間がかかるけれど、手書きでないと伝わらない気持ちもあると思うんです。手書きの文面をもらうとうれしくなり、心が弾みま

すよね」

現在、創世中等教育学校の三年生。学校の語学研修で、今年の夏はカナダ・オンタリオ州へ行き、八日間のホームステイも経験した。

「英語力の不足とともに、自分が日本について知らなすぎることに気付いたんです。もっと歴史や文化も学ばなくては。そして、将来は海外留学することが希望です。この国の良さを外国の人たちへ紹介できたらいいなあって思っています」

部活では本年度から琴部に入っている。地道に努力を重ね、希望に向かって歩み続けてほしい。



## 楽しかった

### りょう理教室

城東町一丁目・高橋宏希

七月二十四日にほけんセンターで行われた「親子のえいよう教室」に、母と妹の三人でさんかして、かん国風おこのみやきと花シューマイとナムルとアンニンドーフの四つのりょう理を作りました。

ほうちょうでおこのみやきのニラとネギ、シューマイのかわを八人分も切りました。家ではキュウリやニンジンが大きく切つたことはありませんが、一くらいに小さく切らなければならなかつたので、大へん。それからシューマイを丸めました。どろだん子を丸めるみたいで楽しかつたです。さい後にアンニンドーフをフルーツでかざるときは、おわりの方であわててやりました。

みんな出来たので、「いただきます」と言つて食べました。おこのみやきがおいしくてたまらなかつたです。大へんだつたけど楽しかつたです。

## まちのニュース



上増田町

## 子どもも大人も 元気に納涼祭



七月三十一日、上増田町の納涼祭が近戸神社で行われました。夕方からは子ども部。みこしが町内の特別養護老人ホームまで練り歩き、お年寄りたちに披露しました。その後はスイカ割りや演劇なども。

夜は大人の部。八木節やだんべえ踊りのほかに稲荷藤節などを踊りました。この踊りは同町発祥で八木節の原型。一度は途切れ、泉沢町の無形文化財保存会の協力で復活しました。

筑井恒太郎自治会長は、「ここはみんなの仲が良くて元気な町。納涼祭の準備も、用意したアイヌが足りないほど集まってくれました」と話していました。